

「平成29年度『学びのスタンダード』推進事業」の推進地域の取組

パイロット校名	南相馬市立石神中学校、南相馬市立石神第二小学校
推進協力校	南相馬市立石神第一小学校

主体的・対話的な学習を通して、児童生徒が相互に啓発し合える授業の実践

今年度より「学びのスタンダード」推進事業の指定を受け、石神ブロックでは研究テーマを「主体的・対話的な学習を通して、児童生徒が相互に啓発し合える授業の実践」と設定し、1年間取り組んできました。その取組の内容についてご紹介いたします。

1 推進地域における「授業スタンダード」の活用について

- (1) 普段の授業づくりへの活用
 - ① 教材との出合わせ方を工夫し、興味・関心を高める課題設定（導入）
 - ② ねらい（目的）を明確にした活動内容・形態の工夫（展開）
 - ③ 考えを深め、理解や気づきを促す「まとめ・振り返り」の工夫（終末）
 などを授業実践への手がかりとした。
- (2) 指導案作成への活用
 - ① 各段階の重点指導事項
 - ② 主体的・対話的な活動、学び合いの時間の確保
 - ③ 見取りと支援のための手立て
 などが盛り込まれているかを指標とした。
- (3) 研究授業後の事後研究への活用
 - ① 当該授業の成果と課題
 - ② 今後の研究の方向性
 などについて、着眼点として話し合うための材料とした。

2 パイロット校の取組内容

- (1) 英語科における「タテ持ち」の取組について
 石神中学校では、英語科での「タテ持ち」を実施し、指導方法の共有を図り、協働して授業づくりを行うとともに、3年間を見通した系統的な指導ができるよう配慮した。
 具体的には、以下のような指導体制をとった。

	1組	2組	3組
1年	A先生	C先生	B先生
2年	A先生	B先生	B先生
3年	A先生	C先生	C先生

- (2) 算数科における「教科担任制」の取組について
 石神第二小学校では、算数科の授業（5・6年生）で「教科担任制」を実施し、教員の専門性を生かすとともに、TTの機能を生かし、個に応じた指導ができるよう努めている。具体的には、以下のような指導体制をとった。

[5年] 算数

	5年1組	5年2組
T1	1組担任	2組担任
T2	教務主任	

[6年] 算数

	6年1組	6年2組
T1	スタンダード推進教師	
T2	1組担任	2組担任

[3年～6年] 教科担任（専科）…理科、書写

(3) 校内研修の実施について【パイロット校Ⅰ、パイロット校Ⅱ】

① 校内研究授業・互見授業の推進

「全教員1人1授業」を目標に、校内研究授業を実施している。

② 事後研究会（ワークショップ型研修会）

生徒の主体的・対話的な活動を実現するためには、教師自身も対話的な活動が必要ではないか、という考えのもと、事後研究会をワークショップ型で行い、活発に意見交換できるように努めている。



(4) 授業研究会の実施について

① 6月26日 石神ブロック授業研究会

石神地区小・中学校3校が持ち回りで授業研究会を実施している。今年度は石神中学校が国語、社会、英語の授業を行い、当該授業の成果と課題について話し合うとともに、小・中学校間での情報交換、今後の研究の方向性などについて確認することができた。

分科会後は、福島大学総合教育研究センターの宗形潤子先生を講師に迎え、石神ブロックの研究テーマに沿った講演会を開催した。



② 11月17日 「学びのスタンダード」石神ブロック授業研究会

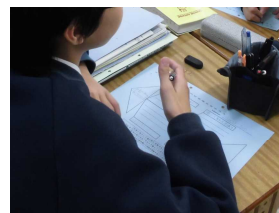
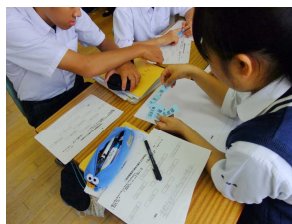
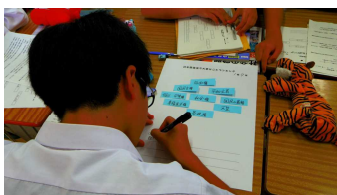
石神二小、石神中で同日に「学びのスタンダード」石神ブロック授業研究会を開催した。どの授業も対話的な活動を重視し、その手立てとして「思考ツール」を用いた実践となり、これまでの取組の成果を見ていただくことができた。

授業後の分科会では、校内研修での取組を生かし、ワークショップ型での研修会を実施し、短時間ながら活発に意見交換がなされた。



(5) 思考ツールの研修・実践について

石神中では、主体的・対話的な活動を実現するために、「思考ツール」の研修・実践を行ってきている。



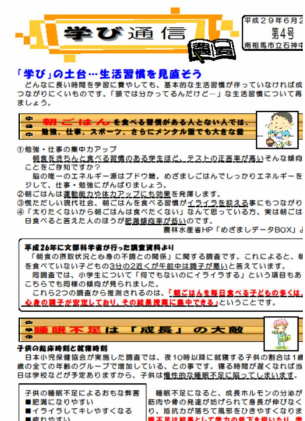
(6) 情報発信の取組について

① 「学び通信」の発行

石神中では、月に1～2回、「学び通信」を発行し、学校の取組や学習方法、生徒作品の紹介など、学びに関する話題について、教職員や保護者に対して情報を発信している。

② ホームページへの掲載

自校のホームページにも学校行事や授業風景などを取り上げ、取組・実践の紹介など、広く情報を発信できるよう取り組んでいる。



3 推進協力校の取組内容

(1) 校内研修の実施

- ① 1人1授業の校内授業研究を計画的に実施し、学校全体で研究を深めた。
- ② 現職テーマである「学び合い」に焦点を当て、全職員で共通理解を持って研究に取り組んでいる。

(2) 推進地域授業研究会の実施

10月2日、石神ブロック推進地域授業研究会を実施した。3年生・5年生の算数科の授業を公開し、事後研究では少人数グループによるワークショップ型で話し合いを行った。



4 成果と次年度へ向けて

(1) 成果

- ① 推進事業に取り組むことによって、自らの授業を振り返り、見直しの機会・授業改善につながるきっかけとなった。
- ② 研究テーマに沿って研修を積むことによって、児童生徒の主体的・対話的な活動を推進することができた。
- ③ 「授業スタンダード」を活用し、自らの授業を振り返ったり、テーマに沿って研修を行ったりすることによって、教員自身の「深い学び」へとつなげることができた。
- ④ 主体的・対話的活動を促すため、思考ツールの研修・実践を行い、児童生徒の思考の重点化、整理、深化、拡散、新たな気づきや発想につなげることができた。

(2) 次年度へ向けての課題

- ① この事業をより円滑に、効果的に進めるため、更に石神地区小中3校間での共通理解を図っていく必要がある。
- ② 「家庭学習スタンダード」を用い、生徒の主体的な家庭学習の在り方について研修していく必要がある。
- ③ 全教員が研究授業や互見授業をさらに推進し、思考ツールについても今後研修を続け、活用・実践していくことにより、授業のさらなる質的向上を目指していく必要がある。

学び通信



平成29年5月26日

第1号

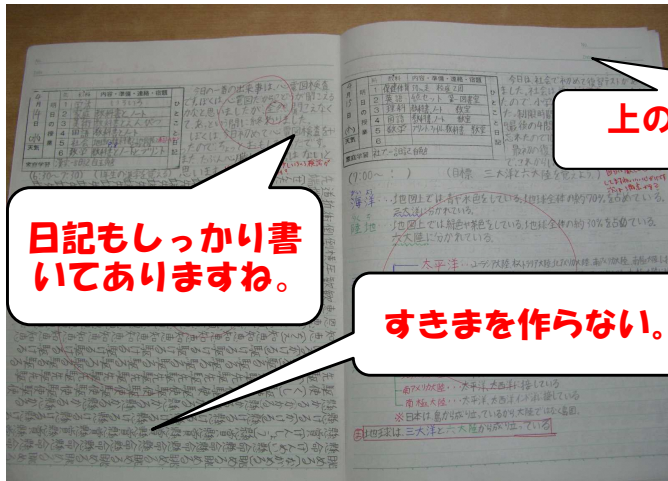
南相馬市立石神中学校

石神中では、「目標を持ち 強い意志と実践力で やり抜く生徒」を重点目標に、日々生徒の健全な心身の成長と学力の向上に励んでおります。

この「学び通信」では、学び・学習に関する内容を内容の中心としてお伝えしていきたいと考えております。不定期ですが、月1回程度発行していきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。

自主学習ノートについて

各学年とも1日2ページの提出となっております。自分に必要な内容を考えながら取り組むことがとても大切です。また、その日の授業内容の復習になっていると覚えるうえで効果的です。



日記もしっかり書いてありますね。

すきまを作らない。

上の余白部分に日付、曜日を記入
(英語で書けば、単語練習にもなります)

自主学習・連絡帳・日記を
1冊にまとめてノートを作ろう

Topic

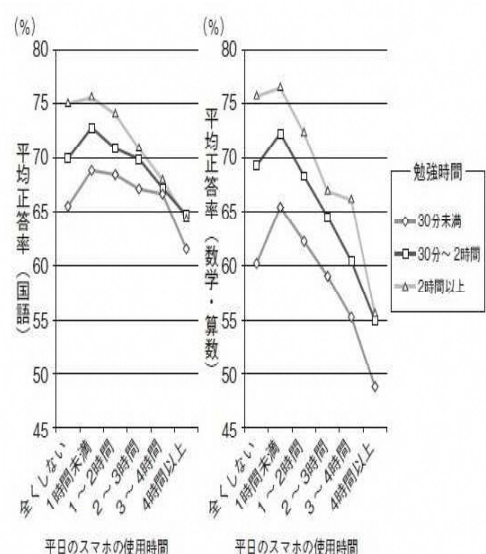
勉強しても台無しに!? 「スマホと学力低下の因果関係」①

大嶋 和美

10代の子どもでも、63%がスマホを所持しているという報告もされているなかで（通信利用同行調査：平成26年）、スマホが子どもの脳に与える深刻な影響について検証された東北大学の調査結果がいま衝撃を与えています。

算数・数学の勉強時間が2時間以上でスマホ使用が4時間以上の場合の正答率が55%なのに対し、勉強時間が30分未満でスマホを全く使用しない場合の正答率は60%。これは、家庭で平日に2時間以上も勉強している子が、ほとんど勉強していない子より成績が悪いという結果でした。仮説の段階ですが、スマホを使用した後の30分～1時間程度は、前頭前野が十分に働かない状態なので、理解力が低下してしまうのが原因ではないかと思われます。

※前頭前野…物事を考えたり、自分の行動をコントロールする力にとって重要な部分



単純に～時間勉強したからよい、ではなく時間帯や生活の流れなどについても考えたいですね。



生徒作品（3学年）
自分の行ってみたい国について
地図、表を用いながら英語で
紹介しました。

○原稿を書いてみよう（7文以上）

Hello, everyone. I'm Satahiko. I'm going to talk about Norway. Look at the map and the table. Norway is north-east of the UK. Its area is three hundred and eighty thousand square kilometers. There are many places to see in Norway, like Aurora and Fjord. It's beautiful view. I want to go and see it myself. Thank you.

map

table

	Area (square km)
Russia	17,098
Canada	9,985
the United States	9,629
Norway	385
Japan	378

○原稿を書いてみよう（7文以上）

Hello, everyone. I'm Akaishizawa Naoyu. I'm going to talk about America. Look at the map and the table. America is south of Canada. It's the world's third largest country. There are many places to see in America, like Grand Canyon. America is more than population Japan. I want to go and see it myself. Thank you.

map

table

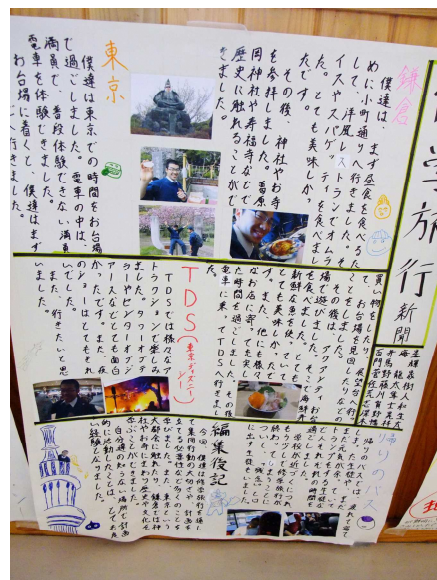
	Area (square km)	population (millions)
Russia	17,098	143
Canada	9,985	33
America	9,629	309
China	9,597	1340
Brazil	8,512	191
Japan	378	128



修学旅行個人のまとめです。
ほとんどの生徒がぎっしりと
書き込んでおり、楽しい
雰囲気が伝わってきます。



班作成の壁新聞です。
写真が効果的に使われており、内容がよく伝わってきますね。
このように自分の体験や考えなどを表現することは今後ますます大事になってきます。積極的に取り組んでほしいですね。



学び通信



平成29年6月2日

第2号

南相馬市立石神中学校

「学びのスタンダード」推進事業について

石神中学校は今年度、「学びのスタンダード」推進校の指定を受け、生徒の学力向上、教職員の授業力向上に取り組んでいくこととなりました。具体的には…

- ・本校生徒の課題の把握
- ・校内研修（日常的な互見授業、研究授業、指導法や教材の共有）
- ・小中研究授業会（6月、11月）
- ・家庭学習の励行
- ・「学び通信」の発行

などを行っていきます。生徒たちが「目標を持ち、強い意志と実践力でやり抜く」力が身につくよう、教職員一丸となって頑張っていきたいと思いますので、ご理解ご協力をよろしくお願いします。



今求められる「学力」とは？

社会のグローバル化
作業の機械化、AI化
海外企業の進出

対応

基礎的・基本的な知識及び技能の習得と、これらを
活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、
表現力その他の能力（学習指導要領より）

○社会の変化に伴い、学力観も変化しています。知識を身につけることだけでなく、それをどのように表現するか、活用するか、が重要視されています。

Topic

勉強しても台無しに!? 「スマホと学力低下の因果関係」②

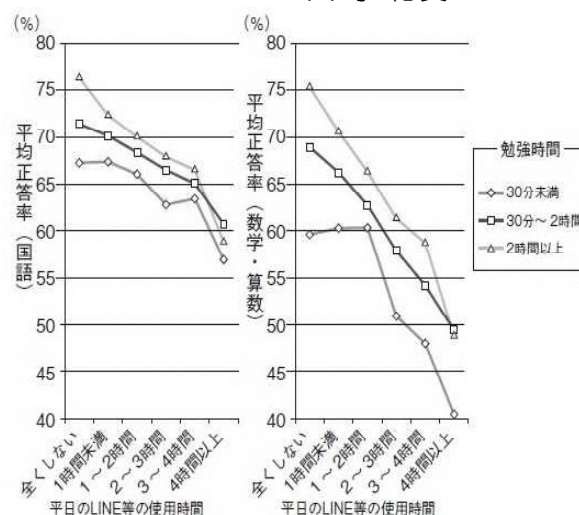
大嶋 和美

LINEは使用時間が増えるほど成績低下

スマホの場合と同様に、勉強時間の長さに関係なくLINEの使用時間が増えるほど成績が下がってしまうのですが、スマホよりも下がり幅が急です。せっかく一生懸命勉強をしてもLINEを使用し続けていると、その分の学習効果は打ち消されてしまう結果となりました。

受験のためにスマホ断ちするという話も聞きますが、使用禁止で本当に学力が向上するかという調査も行いました。そこで見たのは、“たとえLINEをやめても以前に長時間使っていた子どもたちは、成績が上がっていない”という結果でした。

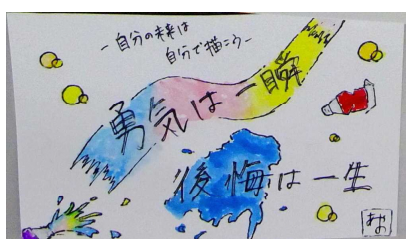
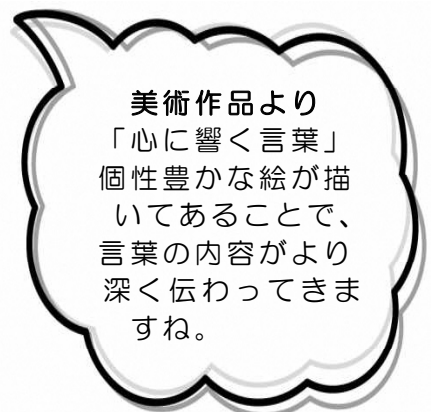
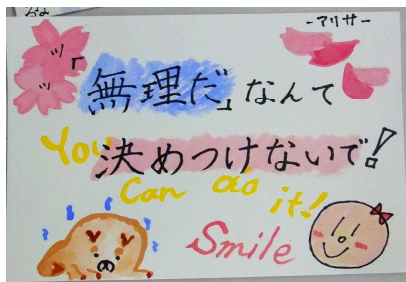
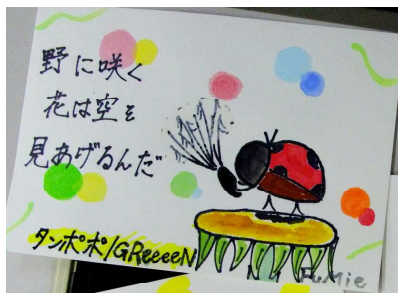
・どんなメッセージがきているんだろう ・どんな話の話題になっているんだろう
・返信しないと嫌われてしまわないだろうか ・仲間はすれにされないだろうか
など色々な考えが頭に浮かびやすい人ほど、“社会不安”と呼ばれる傾向が強く、集中力に与える影響が大きいと考えられますし、思春期の子どもたちなら、より強く現れることは容易に想像できます。LINEを習慣的に長時間使っていると脳の形が変わってしまい、集中力や注意力の低下に繋がると考えられています。





Gallery ギャラリー

2年3組の学習コーナー
教科委員が授業の要点を
まとめて掲示しています。
「これだけは覚えておきたい」
重要項目を共有しています。
授業ごとなので更新も早い！





「アクティブラーニング」とは

最近、教育界でよく耳にするキーワード「アクティブラーニング」。学習・指導方法の1つなのですが、一般的に次のように定義されています。

教員からの一方向的な講義で知識を覚えるのではなく、生徒たちが主体的に参加、仲間と深く考えながら課題を解決する力を養うのが目的。そうした力を養う授業手法として、議論やグループワークなどが挙げられることが多い。（2015 朝日新聞）

◎いま中学校や高校でアクティブラーニングが注目される理由

・少子高齢化 ・グローバル化 ・高度情報化 などがキーワードになります。

情報化の進展で企業はグローバル競争にさらされるようになりました。しかし、日本では既に少子高齢化がかなり進んで、生産年齢人口は減り始めています。周辺のアジア諸国は経済成長を遂げ、日本のグローバル競争における位置づけは大きく変化しました。これからの日本に期待されることは、安いコストで大量に生産することではなく、新しい価値を生み出すことに変化しているのです。真面目で勤勉、言われたことを間違いなくきちんとこなす。そんな日本の成功モデルは過去のものになろうとしているのです。

アクティブ・ラーニングで身につける力とは、知識の活用力である「思考力・判断力・表現力」や「主体性・多様性・協働性」などです。協働して問題を解決したり、新しいことを創造する力を育てるのがアクティブ・ラーニングというわけです。

Topic

勉強しても台無しに!? 「スマホと学力低下の因果関係」③

大嶋 和美

図 1-3 平日にスマホを使う時間ごとに見た全教科の平均点

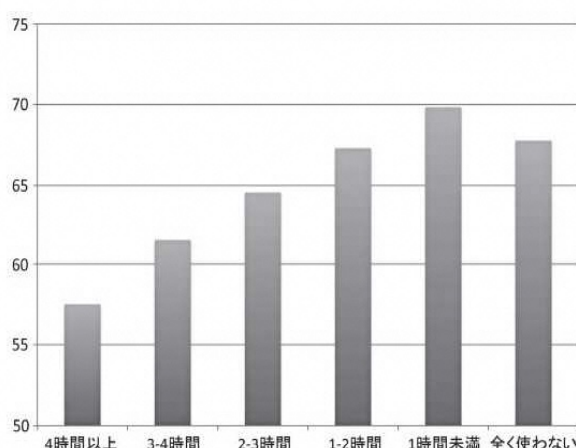
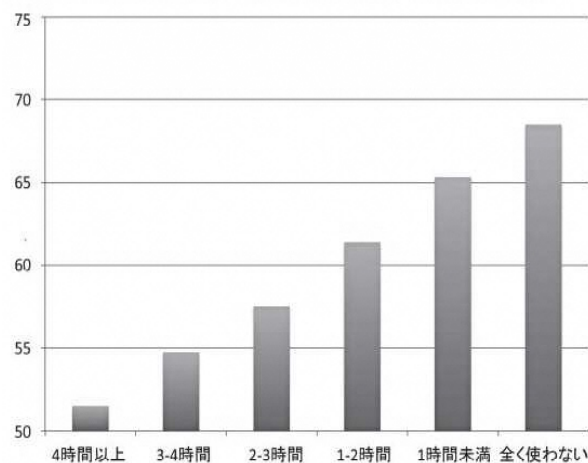


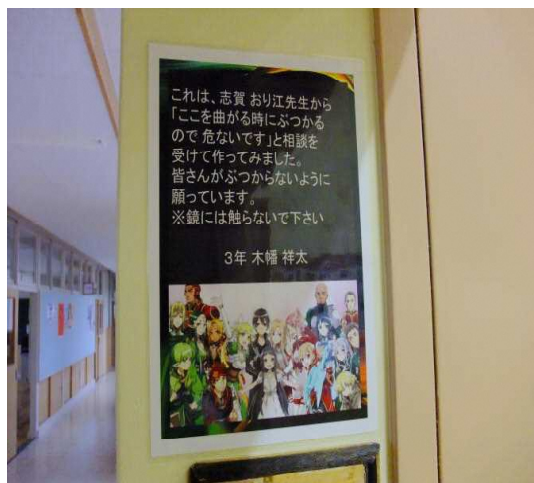
図 1-4 LINE等の無料通信アプリを使う時間ごとに見た全教科の平均点



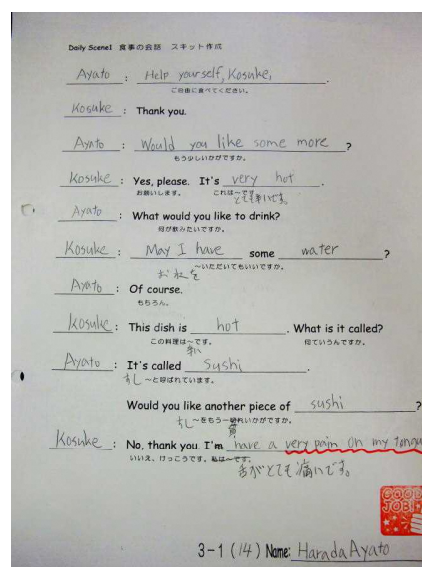
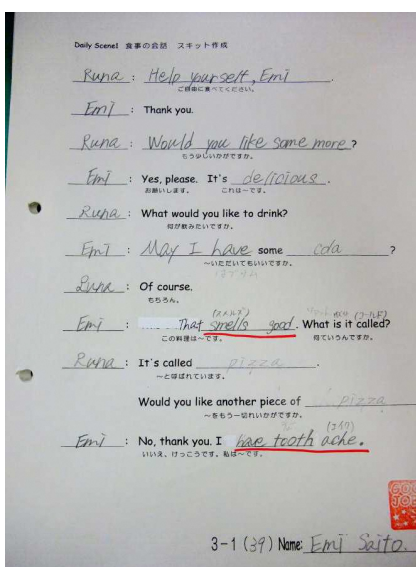
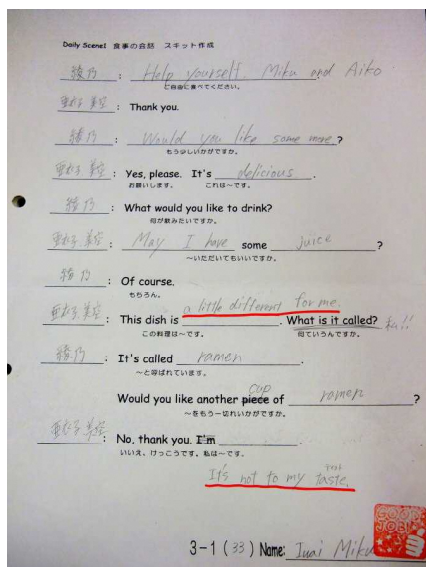
スマホ使用時間が1時間未満と応えた子どもたちの学業成績が最も高かったという結果も出ていますが、単に1時間未満使えば成績が上がるということでは決してありません。スマホを持っても、自分で（もしくは親が）使い方をきちんとコントロールできている子どもたちなのではと考えられます。スマホの使用ルールを含め、親子ぐるみで生活習慣を見直すことがとても重要だと思いますし、この調査結果をきっかけにご自身やお子さんの生活習慣を見直していただければ幸いです。



Gallery ギャラリー



衝突の危険性を考えて、見通しの悪い場所に鏡を設置してくれた生徒がいました。安全性が高まり非常に助かりますね。素晴らしい取り組みだと思います。



3学年英語「食事の会話」

教科書に出てくる表現だけでなく、ペアで工夫して会話文を作成できました。



原稿をもとに
会話練習



そして発表



学び通信



平成29年6月23日

第4号

南相馬市立石神中学校

「学び」の土台…生活習慣を見直そう

どんなに長い時間を学習に費やしても、基本的な生活習慣が伴っていなければ成果にはつながりにくいものです。「頭では分かっているんだけど…」な生活習慣について再確認しましょう。

朝ごはんを食べる習慣がある人となない人では、
勉強、仕事、スポーツ、さらにメンタル面でも大きな差



①勉強・仕事の集中力アップ

朝食をきちんと食べる習慣のある学生ほど、テストの正答率が高いそんな傾向があることをご存知ですか？

脳の唯一のエネルギー源はブドウ糖。めざましごはんですっきりエネルギーをチャージして、仕事・勉強にがんばりましょう。

②朝ごはんは運動能力や体力アップにも効果を発揮します。

③慌ただしい現代社会、朝ごはんを食べる習慣がイライラを抑える事にもつながります。

④「太りたくないから朝ごはんは食べたくない」なんて思っている方、実は朝ごはんを毎日食べると答えた人のほうが肥満傾向率が低いのです。

農林水産省HP「めざましデータBOX」より

平成26年に文部科学省が行った調査資料より

「朝食の摂取状況と心身の不調との関係」に関する調査です。これによると、朝食を食べていない子どもの3分の2近くが午前中は調子が悪いと答えています。

同調査では、小学生について「何でもないのにイライラする」という項目もあり、こちらでも同様の傾向が見られました。

これら2つの調査から推測されるのは、「**朝ごはんを毎日食べる子どもの多くは、心身の調子が安定しており、その結果授業に集中できる**」ということです。

睡眠不足は「成長」の大敵



子供の起床時刻と就寝時刻

日本小児保健協会が実施した調査では、夜10時以降に就寝する子供の割合は1歳半～6歳の全ての年齢のグループで増加している、との事です。寝る時間が遅くなれば当然、翌日は学校などが予定ありますから、子供は慢性的な睡眠不足に陥ってしまいます。

子供の睡眠不足によるおもな弊害

- 肥満になりやすい
- イライラしてキレやすくなる
- 疲れやすい
- 集中力、注意力が散漫になる
- 成長ホルモンの分泌が減少する

睡眠不足になると、成長ホルモンの分泌が減少。筋肉や骨の発達が妨げられて身長が伸びなくなったり、抵抗力が落ちて風邪をひきやすくなります。**睡眠不足は結果として学力の低下を招いたり、学校や課外活動でもトラブルを起こしたりする原因になったりしているのです。**

睡眠はヒトの心身の中核である脳を育て、守り、修復する大切な役割を果たしています。**適切な睡眠は子供の成長過程において、最も重要な要素の一つといえます。**

睡眠健康大学HPより



百マス計算により、子供の学力を飛躍的に改善したことで有名な陰山英男・立命館大教授は二〇〇三年度から三年間、岡山尾道市の小学校長を務めていた当時、一般的にいって、かつての子供の方が学習時間は多かったものの、ゆとりを感じていたのではないかと指摘している。

陰山教授は十分な睡眠を取ることで頭がすっきりして学習に集中でき、一日を有意義に過ごせ、心理的にも余裕が生まれていたとみるのだ。

そうした状況を悪くした原因として、挙げたのがテレビやインターネット、携帯電話の普及。現代の子供は一日二時間以上をインターネットや携帯電話などに費やし睡眠時間が削られているとし、子供たちの精神面に与える影響は計り知れないと警鐘を鳴らしている。

テレビ寺子屋2009年4月18日放送 陰山英男さん（第1631回）

「生活習慣で子どもは伸びる」

今日は意外なことで子供たちの学力が伸びるという事を、お話ししたいと思います。

皆さんは子供さんの学力や成績、気になりますよね。この学力や成績が生活習慣によって大きく変わるという事がわかったのです。そして、もうひとつは教育の成果は時間をかけないと出ないと言われてますが、少なくとも子供の学力や能力はそんな事ありません。実は、教育というのは恐ろしいことに、瞬時に成果が出るものなのです。

では子供の能力に影響を与える生活習慣とは何なのか。実は私、山口県の教員時代、教育委員会の教育改革プロジェクトメンバーでした。目的は、学力向上です。そこで多くのデータを取り、分析したところ、生活習慣の項目でびっくりする結果が出たのです。子供の学力をあげるには、学校や家庭の努力がありますが、一番は何だったと思いますか？皆さん想像がつかないでしょう。それは、朝ごはんをおいしく食べるということだったので。皆さん信じられますか？朝食をご飯に味噌汁、おかずは二皿ほどつけて毎日食べると、子供たちの算数の偏差値で8ポイント、知能指数にいたっては20ポイント上がってるのです。いかに、朝ごはんが重要かお判りですね。正直びっくりしました。

学校で午前中の4時間は主だった科目があります。朝ごはんはこの学習がきちんと出来る土台になるのです。福島県のある小学校でも同様の結果が出ています。朝ごはんは、家庭で親子一緒に食べて頂きたいですね。朝ごはんは子育てそのものなのです。

生徒のみなさん、期末テストはどうでしたか？

テストの結果が返され、授業でも内容の見直しや反省等があるかと思います。

勉強の中身だけでなく、テスト2週間前からどのような生活をしていたか、
振り返って反省の1つの材料にしてみましょう。

次のテストに向けての改善点も見つかると思います。頑張りましょう！

学び通信



平成29年7月14日

第5号

南相馬市立石神中学校

【インプット】と【アウトプット】の繰り返しが記憶を定着させる

みなさんは、「いくら勉強しても記憶できない」「一度覚えてもすぐに忘れてしまう」といった経験はありませんか？誰でも一度はこんなことを感じた事があると思います。ある意味、「忘れる」というのは人間にとって当たり前のことで、必要性を感じている情報の記憶を定着させたり、嫌な（忘れたい）記憶から自分を守るといった役割があります。「忘れる」ということは健全なことと言えます。

とはいえ、勉強では避けたいところですね。そこで、自分の勉強法を振り返り、記憶が定着するようなやり方になっているか、考えてみましょう。



【インプット】と【アウトプット】のバランスが大事！

インプット（入力）…話を聞く、文章を読む、図や絵を見る、など知識や情報を得る事

アウトプット（出力）…人に話す、発音練習をする、書いて練習する、人前で発表する、など知り得たことを様々な形で表現する事

インプットした情報をアウトプットしないと、『分かった気になっている』場合があります。インプットしたことを実践してみたり、人に話す、文字にすることで頭の中の情報が整理されます。そして、アウトプットする時に自分が理解していない部分に気が付くことができるのです。

またアウトプットをすることで、インプットで得た情報を自分の中にしっかり定着させ、理解を深めることができます。

発音練習、書いて練習などはすぐに家庭学習でも実践できますね。

ちなみにおすすめの学習法は…『人に教えること』です！



Topic

ジョブズは自分の子どもにiPhoneやiPadを使わせなかった

withnewsより

小さな子どもが「ハイテク機器」に触れることの危険性とは、まず有害なコンテンツにさらされること。そして最も怖いのは、こうした機器やネットの世界に依存する「中毒症状」に陥ってしまうことです。

ジョブズには4人の子どもがいることが知られており、家庭では、子どもたちのハイテク機器の使用を厳しく制限していたそうです。それから記者が「子どもとハイテク機器」に注目して取材してみると、米国のハイテク企業やベンチャー企業の幹部の多くが、家庭ではジョブズと同じようなことをしていたことが分かりました。

ツイッター創設者の起業家エバン・ウィリアムズ、雑誌ワイアード前編集長のクリス・アンダーソン、フェイスブックのアドバイザーをしているアリ・パルトビ……。彼らやその妻は、自分の子どもがハイテク機器の画面を見る時間を厳しく制限し、翌日に学校がある晩はまったく使わせなかったり、週末でもアクセスできる時間を禁欲的に制限したりしているといいます。

では、ジョブズの子どもたちは、父親が作った機器を使う代わりに、どうしていたの

でしょう？

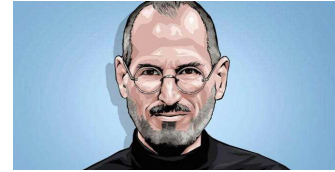
伝記「スティーブ・ジョブズ」を書き、ジョブズの自宅を何度も訪れていたウォルター・アイザックソンに記者が取材したところ、「スティーブは毎晩、台所の大きな、長いテーブルで食事をしながら、必ず本や昔のことやいろんなことについて子どもたちと話し合うようにしていた」といいます。

「誰も、iPadやパソコンを持ち出すことはなかった。子どもたちが機器類に依存しているような感じは、まったくなかったね」

スティーブ・ジョブズ

アップル社 元会長（創業者、元CEO）

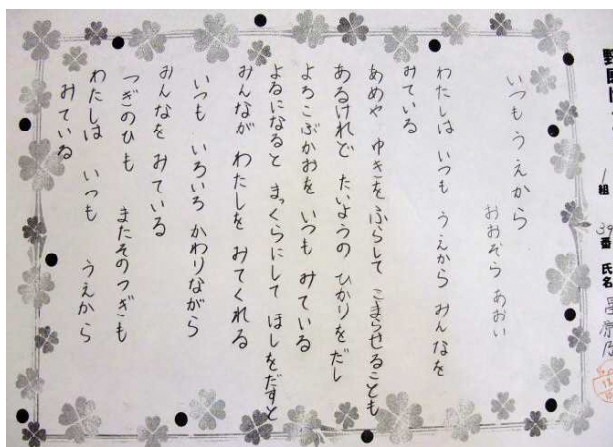
ピクサー 元社長（元CEO）



作品介绍

1 学年国語科

「野原はうたう」より



いつもうえから

おおぞら あおい

わたしは いつも うえから みんなを みている
あめや ゆきをふらして こまらせることも
あるけれど たいようの ひかりをだし
よろこぶかおを いつも みている
よるになると まっくらにして ほしをだす
みんなが わたしを みてくれる
いつも いろいろ かかわりながら
みんなを みている
つぎのひも またそのつぎも
わたしは いつも うえから みている

（星 涼乃さん作）

なみだは ぼくを しっている

なみだ なみお

なみだは ふしぎだ

なみだは ぼくのきもちが

おみとおしなのだ

うれしいとき かなしいとき

くやしいとき むかつくとき

きづいたら なみだが でている

ぼくはもう なかないもんって おもっても

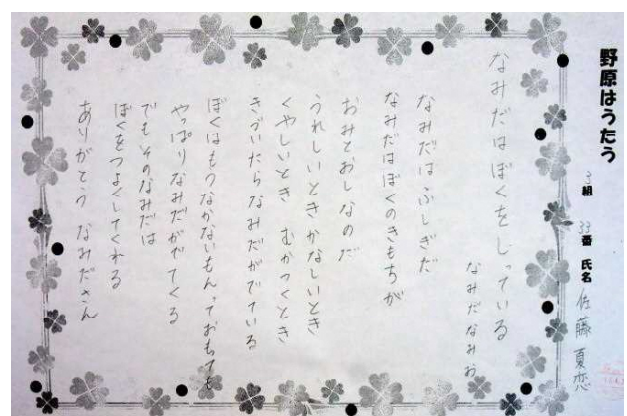
やっぱり なみだが でてくる

でもそのなみだは

ぼくを つよくしてくれる

ありがとう なみださん

（佐藤 夏恋さん作）



学び通信



平成29年7月19日

第6号

南相馬市立石神中学校

「学びのスタンダード」推進地域授業研究会が行われました

6月26日(月)「学びのスタンダード」推進地域授業研究会が行われ、1年2組国語、2年3組社会、3年3組英語の授業が公開されました。授業の内容は次の通りです。

クラス	教科	授 業 内 容
1年2組	国語	新しい視点へ「ちょっと立ち止まって」 (ものの見方、考え方)
2年3組	社会	近世の日本・ヨーロッパ人との出会いと全国統一 (豊臣秀吉による統一事業・調べ学習)
3年3組	英語	Unit2 From the Other Side of the Earth (環境問題を英語でまとめ、発表)

【授業のようす】

1 年 2 組 国 語



2 年 3 組 社 会



3 年 3 組 英 語



石神地区小学校など多くの教師が参観する中、どの授業も生徒がよく話を聞き、主体的に学習活動に取り組んでいました。今後生きる授業研究会となりました。

今回の授業研究会には、福島大学准教授・宗形潤子先生を招き、「主体的、対話的な学習を通して、児童生徒が相互に啓発し合える授業」について講話をいただきました。「石神中の生徒はもう対話することができている。」と評価をいただきました。さらに相手に伝わる表現力が向上するよう今後も指導していきたいと思います。



学び通信



平成29年9月15日

第7号

南相馬市立石神中学校

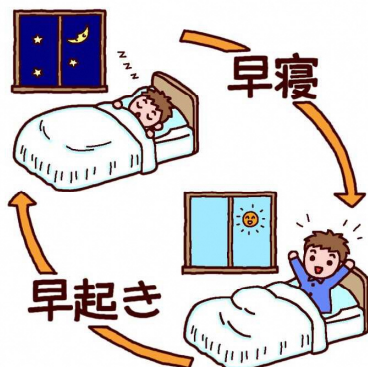
2学期が始まりました。すでに全学年で夏休み課題テストを実施しました。夏休みでの取り組みがそのまま結果となって現れたのではないのでしょうか。

授業では、眠い目をこすりながら睡魔と戦っている生徒の姿も見られ、生活リズムを取り戻すことが急務だと感じています。下のチェック表をもとに、規則正しい生活が送れているか確認してみましょう。

生活リズムチェック(できているものに○をつけよう)

生活面	1	朝、決まった時間に起きていますか。
	2	あいさつ(おはようございます・こんにちは・おやすみ)ができていますか。
	3	朝食を毎日食べていますか。
	4	バランスの良い食事がとれていますか。
	5	忘れ物がないように前日に持ち物をそろえていますか。
	6	お便りは家の人に渡していますか。
	7	テレビ、ゲーム、スマホなどは時間やルールを守っていますか。
	8	手伝いをしていますか。
	9	学校での出来事について家で話をしていますか。
	10	読書をしていますか。
	11	夜、決まった時刻に寝ていますか。

学習面	1	学習用具は使いやすいように整理整頓していますか。
	2	勉強時間中はTVやスマホなどのメディアに触れないようにしていますか。
	3	良い姿勢で勉強していますか。
	4	宿題は期限前日までに家でやっていますか。
	5	文字を丁寧に書いていますか。
	6	自分で必要な学習について考え、自主学習ができていますか。
	7	テストで間違えた問題の復習をしていますか。
	8	わからない学習内容については、誰かに質問して解決しようとしていますか。
	9	授業の復習はしていますか。
	10	授業の予習はしていますか。
	11	新聞やTVのニュースなどを見て社会の情勢に関心を持っていますか。



バランスの良い食事



頑張り過ぎも注意



直しノート(誤答ノート)のすすめ 「間違い」は宝！

テストというと、つい子どもは点数(評価)を気にします。それで自分の能力にレッテルを貼り、ここまでしかできないという“天井”を作る傾向すらあります。しかし重要なことは評価ではなく、「何を学んだのか」ということであり、最終的な入試では点数が取れなくてはなりません。定期テストや小テストでは、間違いがあっても当然なのです。

そして「間違いの数＝成長の数」ですから、間違いを大切にしなければなりません。その間違い(＝成長の種)だけを特集して集めた「**直しノート(誤答ノート)**」を作っていくと、成長(点数が上がっていく)の一助となります。

【作り方】

・左に問題、右に解答と自己流解説

ページなどを半分に区切って作るのが一般的ですが、自分のやりやすさや教科によって自分流に作るとよいと思います。

・色を使ってカラフルにする

自分が後で見返したくなるノートにしよう。ですが、「きれいにノートを作ること」が最大の目的にならないよう注意しましょう！

・オリジナルノートを作る

「自分のことばでまとめる」ことが大事です！

・「今度どういうところに気をつけるか」の記述→ 反省と対策

次に同じ間違いをしない、という視点を持ちましょう。

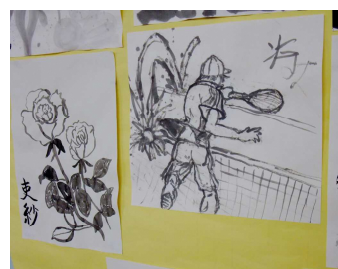
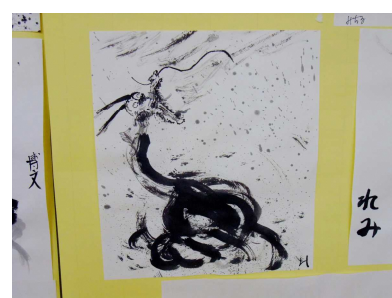
【作成の例】



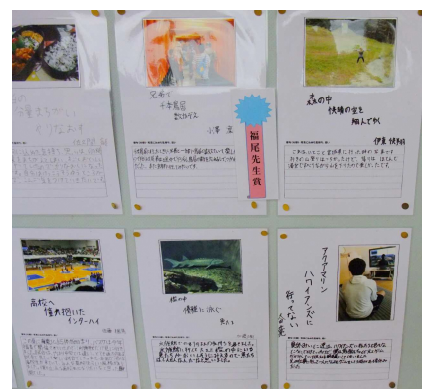
「なぜこんなところに〇〇が?!」
ねんど作品を思い思いの場所で撮影し
背景を含めて1つの作品にしました。
生徒が自由な発想を持って取り組むこ
とで個性豊かな作品に仕上がりました。



「水墨画」
味わいのあるタッチ
で、墨の濃淡で立体
感を表現するなど、
工夫が見られます。

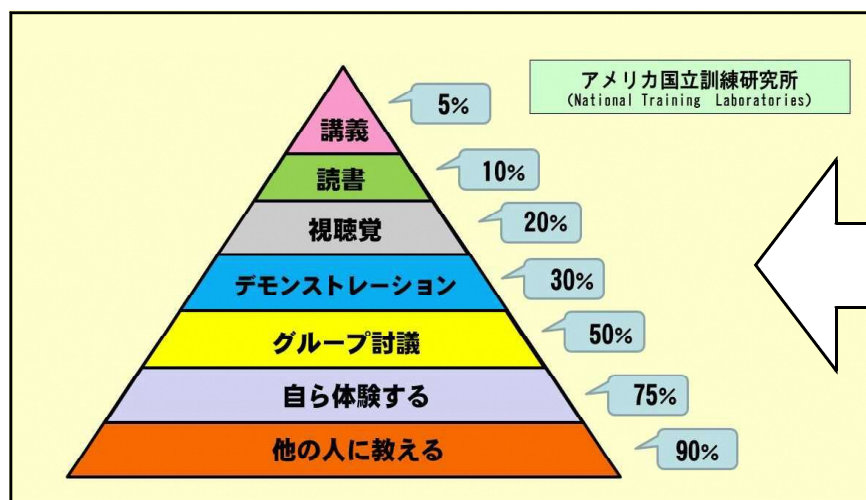


「俳句コンクール」夏の思い出をそれぞれの視点で、
表現することができました。「よい作品を作ろう」
という積極的な姿勢が感じられる作品ばかりです。





ラーニングピラミッドを知っていますか？



ラーニングピラミッドとは、複数の学習方法を学習定着率の高い順に並べ、ピラミッド状で表現したものです。公教育での基盤となる指導方法である、講義形式の学習から、他者に教えるという学習方法までの7段階があります。

ラーニングピラミッドでは、下に表記されているものほど学習定着率が高いとされています。（右にある数値はその根拠を示す、科学的な論証が見つかっていません。あくまで仮定として捉えられているものです。）つまり、自発的・能動的な活動の方が定着しやすい、というわけです。

それぞれの学習方法について見てみると、下のように分けることができます。

講義（話を聞く）
読書（書籍や資料を読む）
視聴覚（ビデオなどを見る）
デモンストレーション
（実際にやっているのを見る）

受動的な学習

「自ら知識を得る興味関心と意欲、
集中力が大事！」

グループ討論（班での話し合い
ディベート）
自ら体験する（体験型学習）
他の人に教える
（インプット→アウトプット）

能動的な学習

「人間関係の築き方や
積極性が大事！」

定着率が高いから、下の学習方法の方が「良い学習方法」か、ということではありません！以前インプットとアウトプットの話を書きましたが、バランスが大事なのであって、両者とも必要不可欠です。もし、グループ活動や体験型学習ばかりをやっていたら、勉強が苦手な生徒は自信をなくしてしまうかも知れません。逆に講義型学習ばかりだと意欲の低下につながりかねません。偏ることなく学習内容に合わせた方法を選択することが大事だと思います！



授業風景から
紹介します

3年3組 国語（10月3日）

森鷗外「高瀬舟」



全員で話を聞く場面、
周りの生徒と意見を交換
する場面、同じ意見の生
徒同士でのグループ分け
など、活動形態が工夫さ
れていました。



生徒たちは、活動形態
や内容によって、人の発
表をしっかり聞いたり、
自分の考えを発表したり
することが立派にできて
いました。



1年2組 国語（10月18日）

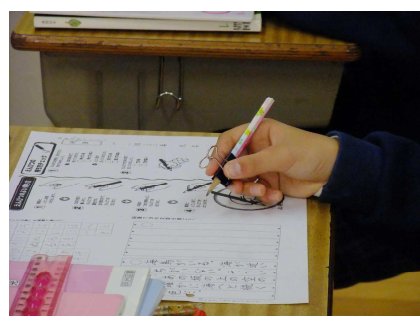
書写「鉛筆の持ち方」



お互いに普段自分が鉛
筆をどのように持っている
か、チェックをして、
持ち方についての注意
点を確認することで、本
時の課題を意識させまし
た。



鉛筆にクリップをはさ
み、正しい持ち方で書く
練習をしました。
先生や友達との対話は
元気よく、練習は集中し
て行えました。



学び通信



平成29年11月30日

第10号

南相馬市立石神中学校



石神地区授業研究会が行われました

11月17日(金)、石神地区授業研究会が行われました。4校時に石神二小、5校時に石神中での実施となりました。公開授業には、相双地区の小中学校の先生106名が参観し、終了後授業についての研究協議を行いました。

その時の様子を紹介します。

【日 程】

11:00 11:15 12:00 13:25 14:15 14:25 15:10 15:20 16:20 16:30

受付	公開授業Ⅰ (石神二小) 国語・算数	昼食 ・ 移動	公開授業Ⅱ (石神中) 社会・理科・英語	休憩 ・ 移動	分科会 及び 研究協議	休憩 ・ 移動	講 演 (体育館)	閉会
----	--------------------------	---------------	----------------------------	---------------	-------------------	---------------	--------------	----

【公開授業】

	教 科	学 級	内 容 (単元名)
公開授業Ⅰ (石神二小)	国 語	3-1	せつめいのくふうについて話し合おう
	算 数	6-1	比例と反比例
公開授業Ⅱ (石神中)	社 会	3-1	企業を通して経済を考えよう
	理 科	2-2	天気とその変化
	英 語	1-1	Daily Scene 4 ウェブサイト

【授業のようす】

社会
(3-1)



理科
(2-2)



英語
(1-1)



【アンケートに寄せられた声】

- 児童間での学び合いや調べ学習、「フィッシュボーン」を活用しての集約など大変勉強になった。
- 子どもたちの活発なグループでの話し合いから、普段の学習訓練が感じ取れた。どの教科でも一貫して取り組むことが必要だと再確認した。
- 算数の授業では、意見交換の場面が設定されており、子どもが積極的に参加していた。
- 英語の授業はなごやかでほほえましかった。
- 思考ツールを用いるというのが新鮮だった。取り組み、考えやすいうえに、グループで協働できるというのも良かった。
- ジグソー学習を用いたことで、生徒一人ひとりが役割をもって授業に参加することができていた。
- 様々な手立てを用いた授業で、大変参考になった。自分の授業でも活用したい。
- 社会科の授業を参観し、これから求められる授業のあり方を考えることができた。
- 習慣化、継続化させることが何よりも有効な手立てだと感じた。
- 手立てだけでなく、学習習慣の鍛錬、T-Tの役割の明確化、単元構想など授業づくりに関して大切な要素を学ぶことができた。
- 課題が工夫されており、子どもが主体的に学ぶ姿が見られた。参観してとても気持ちのいい授業だった。
- ICTが効果的に活用されていた。
- 小中の授業を続けて見ることができ、有意義だった。中学生が思っていたよりもグループ活動に積極的だったのが印象に残った。
- 子どもたちのノートが素晴らしく、一人ひとりしっかり考えを持って授業に臨んでいることが分かった。全体での共有化の場面でもっと意見が出る姿を見たかった。
- 生徒同士の対話や協働をコーディネートし、学びが深まるようにする教師の役割は重要だと感じた。
- 小中両方の授業参観ができ、つながりが見えて良かった。
- 子どもの表情がよく、授業に対する満足度が高いように感じた。
- 思考ツールは確かに魅力的と感じるが、授業のポイントは導入における、生徒に対していかに目的意識をもって課題に取り組む意欲をもたせるか。展開においては、いかに交流させて進めるのか。終末においては自分のことをどれくらい振り返られるのか。いつの時代もこれだと思う。
- まとめとふり返りの時間が十分確保できなかった。授業の構想は、説明文を読む力を育成する所だけでなく、単元全体を記入してほしい。今回は「学びのスタンダード」推進事業のはず…それに合った授業の組み立て（構成）が必要だったのでは…
- 授業の構想シートが生かされていた。本時は時間が足りなくて、メインの学びのふり返りの時間が足りなかった。
- 指導計画を立てる段階で意図的に時数配分を工夫しないと実行するのは難しい授業内容だと感じた。
- 授業で共通する柱を共有すると、石神ブロックとして実践協力しやすい。

【講演会】

「主体的、対話的な学習を通して、児童生徒が相互に啓発し合える

授業のための教師の在り方」

独立行政法人福島大学 准教授 宗形 潤子 様

（会場：体育館）



アンケートから（感想等）

- 主体的、対話的な学びのイメージが持てた。
- 教師として授業をどのようにマネジメント・コーディネートしていくべきなのか、考えさせられた。
- 子どもの表情、発言についての見取りの大切さ、日々の授業への心構えなど改めて考えさせられた。

学び通信



平成29年12月12日

第11号

南相馬市立石神中学校

思考ツールの活用について

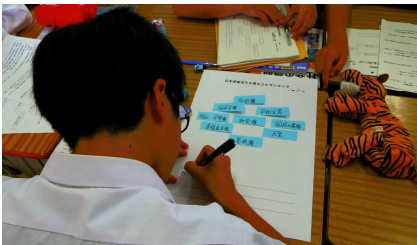


思考ツールとは？

今、子どもたちに「物事を深く考えて学んでいく」という姿勢が求められています。授業でも「自分の考えとその理由を述べよ」など様々な「考える」場面が設定されるようになりました。しかし慣れていないと、子どもは頭を整理できずに悩むことがあります。子どもたちの考えたことを見えるようにして、**考えることを助けてくれる**便利な道具が「思考ツール」です。

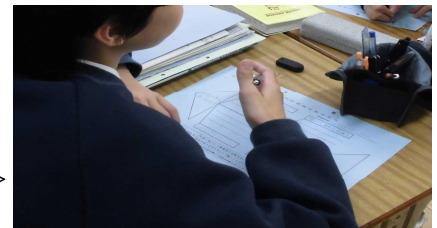
子どもの頭の中にあるたくさんの情報や考えを、型の中に流し込むように書き出すことで、自然と整理することができます。「思考ツール」にはいくつもの種類があり「比較」「分類」「関連づける」など、どのように整理したいかによって、使う図は様々です。頭の使い方に合わせたツールを選ぶ必要があります。

石神中学校でも使っています！

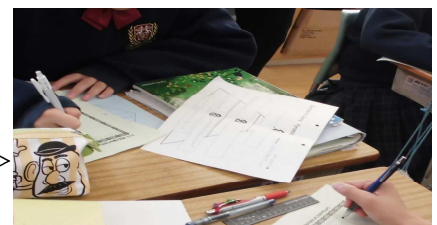


ダイヤモンドランキング

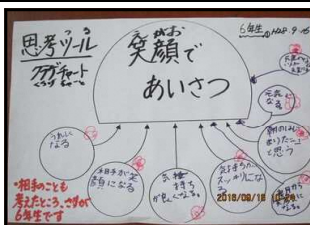
フィッシュ
ボーン



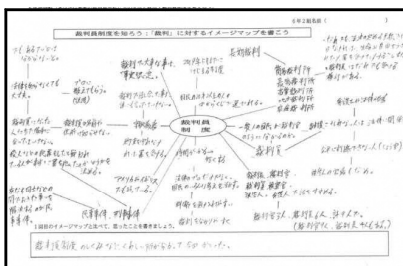
ピラミッド
チャート



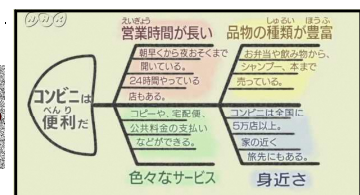
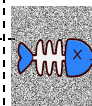
思考ツールいろいろ



クラゲの形をした「**クラゲ・チャート**」。頭の部分に「主張」や「意見」、足の先にある丸の中にその理由を書き出していきます。自分の意見に対し、経験や情報を整理して理由を言うときに役立つ図です。



丸と丸が線で繋がった図「**イメージマップ**」。自分の頭の奥にある知識やイメージを表に出し、新しいアイデアにつなげるために使います。



魚の骨のような形をした「**フィッシュ・ボーン**」。魚の頭に「テーマ」、中骨に「視点」、内側の小骨に「具体的な例」を書きます。



新年を迎えて…「やる気」を出す方法



勉強をしないといけないのに、なかなかやる気が出ない。そんなことに悩んでいたりしませんか？ 学生はもちろん、大人になっても何かと付きまとう“勉強”。

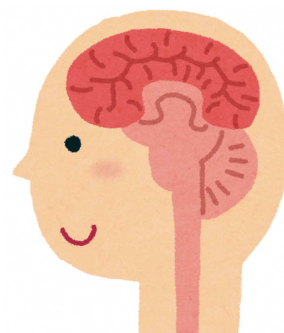
スキルアップのための自主的な学習や、会社から求められて外国語やその他の技能を習得しないといけないということもあるでしょう。

しかし、直接的な義務である仕事とは違い、勉強となるとなかなかやる気が出ず、気づけば後回しにしている、ということも少なくないのではないのでしょうか？

そこで今回は、だらだらしてしまう自分を退け、“勉強モード”にスッと切り替える方法を紹介したいと思います。

人間の「やる気」を大きく左右するのが、脳内で分泌される**ドーパミン**という神経伝達物質です。このドーパミンが分泌されると、人間はやる気に満ち、積極的に行動を起こすことができるようになります。しかし、このドーパミンを分泌する**側坐核**と呼ばれる部分、実は**この部位が活性化するのは「実際に行動を起こしているとき」**なのです。

例えば、スマホをいじってダラダラしているときや何となく惰性でテレビを見ている間などには、この側坐核は活性化せず、ドーパミンも分泌されなくなってしまう。そうしていつまでもやる気が出ない、ダラダラと過ごしてしまう、という悪循環に陥ってしまうのです。



何よりもまず行動を！

悪循環から抜け出すために、**最も効果的なのは「とにかく動く」**ということです。**やりはじめないと、やる気は出ません。**脳の側坐核が活動するとやる気が出るのですが、側坐核は、何かをやりはじめないと活動しないのです。

やるためにやる気を出すのではなく、やる気を出すためにとりあえずやる。悪循環を抜けるためには、そういう考え方の転換が必要になってきます。

ここで大切になってくるのは**“側坐核を活性化させること”**。そのためには、「**とりあえず机に座り、教材を開く**」だけでも効果があります。それだけでは物足りないのであれば「最初の数行を音読してみる」というのも、側坐核の活性化には役立ってくれるでしょう。



しかし「そんなやる気すらもない！」というときには、思い切って散歩に出たり、ジョギングをしたり、その場で軽くラジオ体操をしてみたり、

とにかく気持ちよりも先に「身体を動かす」

ということを試してみてください。適度な運動は、側坐核の活性化に非常に効果があり、身体を動かすことで「よし、やるか」と自然とやる気も湧いてくるのです。

報酬を大切に



人間の脳がドーパミンを分泌するとき、行動と並んで重要になるもう1つのキーワードが「報酬」です。人間の脳は、報酬を手にしたとき、もしくはそれを手にすると“意識したとき”に報酬系が作用し、ドーパミンが分泌される働きがあります。高い報酬を意識することで、辛くて長い仕事にも耐え抜くことができるというのは、この報酬系が作用してストレスの軽減ややる気の増進が行われているからなのです。

このことを利用して、勉強の後に報酬を設定することで、勉強に取り掛かるやる気を奮い立たせることができます。

しかし、このとき注意すべきは、人間は「高すぎる目標」や「困難過ぎる仕事」に対してはやる気を失いやすいということ。例えば、いきなり「5時間集中する!」、「この1冊を今日中に終わらせる」なんて目標を立てたところで、やる気なんて湧いてくるはずがありません。

そのため、まずは「**とりあえず30分集中したらおやつを食べよう**」、「**とりあえず10ページ進んだら休憩にしよう**」など、簡単に達成できる目標を立て、報酬を強く意識するのが重要です。そうすることで、勉強にとりかかるモチベーションはグッとアップしてくれるのです。

※ここでの「報酬」とは、お小遣いや品物を他人から与えられることではありません



音楽もドーパミンを出す

それでもなかなかやる気が湧いてこない、という人はやる気のための最終兵器、**音楽**を試してみてください。

カナダ・マギル大学の研究チームの発表では、**音楽にはドーパミンを大量に分泌させる働きがある**ことが明らかにされています。つまり、音楽は聴くだけでやる気を奮わせる、いわば「起爆剤」になってくれるのです。



勉強は続けるよりも、実は取り掛かることの方が難しいかもしれません。ですが、「**考える前にとりあえずやってみる**」ことを続け、習慣にすることで苦には感じられなくなってくるはずです。東大生の経験談を聞くとよく「特別なことはやっていない」と言っていますね。勉強はやっていないはずはないのですが、習慣化されているために「当たり前前のことをやっていただけ」と感じられるのでしょう。

引用元：STUDY HACKER HP

これを
習慣に!

あれこれ考えず...

あ、勉強の時間...

とりあえずやってみる!

↓ここはスキップ!

嫌だなあ...



学び通信



平成30年1月19日

第13号

南相馬市立石神中学校

「家庭学習スタンダード」をご活用ください



先週福島県教育委員会より、ふくしまの「家庭学習スタンダード」が届き、本校でも12日に各家庭に配付いたしました。表紙右上に「保存版」とあるように、今後さまざまな活用をしていきますので、紛失することのないようご配慮をお願いします。

表紙をさらに見ると、大きく「**自己マネジメント力**」と書かれ、その下にこのように付記されています。

現代の子どもたちは、テレビやゲーム、スマホなど、誘惑が多い環境の中で、家庭学習（宿題＋自主学習）に取り組んでいくことになります。

だからこそ、「**R-PDCAサイクルを通して、自分で学習や生活を改善する力**」、つまり「**自己マネジメント力**」が必要になるのです。

誰かに言われてしぶしぶやるのではなく、子ども自身が自分の夢や目標の実現のために、現状を分析して、計画や予定を立て、自主的に学習し、確かめや見直しを行うことができる力の育成が主な目的となっているのです。

学校では、今後このリーフレットを活用し、家庭学習について指導していきますが、ご家庭でも話題に取り上げ、お子様と雑談がてらお話いただければ幸いです。

「R-PDCAサイクル」って？



Research（リサーチ、自分を知る）＝自分の学習方法や課題について知ろう。

Plan（プラン、計画する）＝どのような方法で、何を、どのくらいやるのか計画しよう。

Do（ドゥ、自ら学習する）＝計画（時間帯・内容）に沿って自主的に学習しよう。

Check（チェック、確かめる）＝学習の取り組み方や結果を振り返ろう。

Action（アクション、見直す）＝振り返りをもとに、学習内容・方法を見直そう。

習慣化

=

R-PDCAサイクル

「R-PDCAサイクル」という名前から難しい印象を持ったかも知れませんが、そんなに身構える必要はありません。大事なのは、①家庭学習の習慣をつける（ほぼ決まった時間帯に）、②自分にとって必要な学習内容や方法を考える、③主体的に取り組む、④必要に応じて学習内容や方法を改善していく、ということです。自分に必要な内容を考えるだけでも家庭学習の効果が違ってくると思われます。